

ほっと、ひとこと。

みなさんは、「ふくおか・まごころ駐車場」をご存知ですか？

◎「ふくおか・まごころ駐車場」は、障がいのある方や介護が必要な高齢者、妊産婦などの市民が安心して利用できることを目指し、公共施設はもちろん、スーパーやコンビニ、銀行や郵便局などに設置され、施設出入口の近くに車椅子マークが書かれた駐車スペースのことです。私は、昨年の北九州市議会3月定例会の一般質疑で、「ふくおか・まごころ駐車場」の整備について質問しました。きっかけは、私の地元である徳力市民センターが未設置のままの状態では整備が遅れているのではないかと疑問からです。議会では、「市内には約130の市民センターが設置されていますが、地域コミュニティの拠点である市民センターの駐車場に、『ふくおか・まごころ駐車場』を早急に整備すべきと考えますが、見解をお聞かせください。」と質問をしました。質問に対して市からは、「市民センターの『ふくおか・まごころ駐車場』につきましては、現在、身障者用の駐車場等を有する市民センター 97 館が登録しております。一方、身障者用の駐車場がないことや駐車区画数が非常に少ない等の理由で、未登録の市民センターもあります。今後は、誰もが利用しやすい地域コミュニティの拠点として、制度の趣旨に鑑み、未登録の市民センターにつきましても、現場の状況や利用実態を改めて確認し『ふくおか・まごころ駐車場』の登録をさらに進めてまいりたいと考えております。」と答弁を引き出しました。その結果、新たに10市民センターで設置され、未設置だった徳力市民センターにも「ふくおか・まごころ駐車場」が整備されました。これからも市民に寄り添い、障がいのある方や介護が必要な高齢者、妊産婦などが安心して利用できる施設を増やしていきたいと思います。



整備された徳力市民センターの「ふくおか・まごころ駐車場」

◎市では対象の方に、住所地の各区役所保健福祉課で申請を受け付け、『ふくおか・まごころ駐車場利用証』を発行しています。また、駐車場を管理されている方には、利用証を持った方が利用できる『ふくおか・まごころ駐車場』として登録してもらうように協力をお願いしています。

利用できる駐車場
この駐車場はふくおか・まごころ駐車場です
本当に必要な方のため利用証を持たない方の駐車はご遠慮ください
※福岡県
「ふくおか・まごころ駐車場」は目印ステッカーが掲示されています。

駐車場の利用証
「ふくおか・まごころ駐車場」を利用する際には、利用証を車内に掲示。利用証は、対象となる方が運転又は同乗されている場合に利用可。赤色の利用証は、車椅子常時利用の身体障がいのある方で、自ら運転する方に交付されます。

緑色の利用証
ふくおか・まごころ駐車場利用証
身体・知的・精神障がいのある方、高齢者、難病者

赤色の利用証
ふくおか・まごころ駐車場利用証
車椅子常時利用の身体障がいのある方

オレンジ色の利用証
令和年度 年度
ふくおか・まごころ駐車場利用証
有効期間 年 月 日
妊産婦、けが人

お知らせ

北九州市議会2月定例会は、
2月20日(火)～3月25日(月)まで開催されました。
北九州市議会のウェブサイトにて録画中継をご覧いただけます。

北九州市議会のHPはこちら



北九州市政に関するご意見・ご要望、身近な問題・課題などお聞かせください。

いずみひでお 事務所

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町1-27-23-101

E-mail 123hideo0104@gmail.com

TEL 093-967-6615

FAX 093-967-6698

いずみひでおのホームページ
http://123hideo-fukuoka.kikirara.jp



FaceBookにも日々の活動を更新中！
https://www.facebook.com/izumi.hideo



泉日出夫●1968年1月4日生まれ●広徳小、広徳中、小倉工業高校、九州国際大学卒業●福岡県立豊津高校(現・育徳館高校)社会科講師を経て中小企業アドバイザーとして勤務●福岡県議会議員を二期8年●下南方東町内会長、徳力校区自治連合会副会長、徳力地区教育関係者人権教育推進協議会会長その他兼任

みらいへ、つなぐ、つながる。
北九州市議会議員
いずみひでお
市政報告
mirai
Hideo Izumi, Kitakyushu Municipal Administration Report
Vol.07
発行：2024年3月
この市政報告は政務活動費で作成しています。

みらいへ、つなぐ、つながる。

北九州市議会議員

いずみひでお 市政報告

HIDEO IZUMI, Kitakyushu Municipal Administration Report

Vol.07

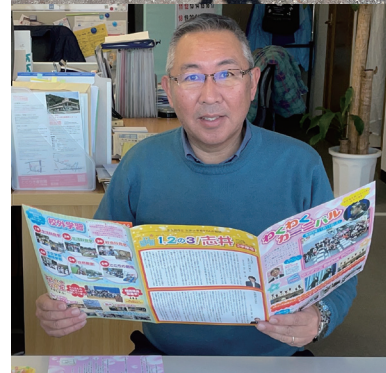
地域の声を力に、人にやさしい元気な街を目指します！

◎本年の元旦、石川県能登地方を震源とする最大震度7を観測する地震が発生し、家屋の倒壊や津波、火災などで多くの方が亡くなる甚大な被害となりました。また、翌日には東京・羽田空港滑走路で、日本航空機が着陸時に海上保安庁の航空機と衝突して炎上し、海上保安庁機に乗っていた6人のうち5人の隊員の死亡が確認され、不安を抱えての新年スタートとなりました。改めて、お亡くなりになった方へ心よりお悔やみ申し上げますと共に、今尚、厳しい避難生活を強いられている皆様にお見舞い申し上げます。そのような中、3日午後には小倉北区魚町の飲食店が立ち並ぶ「鳥町食道街」で火災が発生。周辺の35店舗に燃え広がり、旦過市場の火災に続き市民にとって辛い出来事となりました。一日も早い復旧復興に向け、力強く支援を呼びかけていきたいと思います。

◎2月20日に開会された令和6年2月定例会において、会派(ハートフル北九州市議会議員団)を代表して3項目※次ページ参照について一般質疑を行い、市長並びに担当局長から前向きな答弁を引き出しました。これからも、市民の皆さまのくらしや仕事に密着した疑問や質問に応じてまいります。議会では、市長より、「北九州市基本構想・基本計画案」やその実現に向けた「令和6年度当初予算案」が提出され、「北九州市基本構想」では、目指す都市像として「つながりと情熱と技術で、『一步先の価値観』を体現するグローバル挑戦都市・北九州」と定めています。令和6年度当初予算の規模は一般会計で6,278億8,300万円、特別会計で4,221億9,000万円、企業会計で2,836億5,800万円、総額1兆3,337億3,100万円で、前年度の当初予算と比較して総額で2.4%の増となっています。令和6年度予算テーマは、「成長への再起動(第2弾)」と銘打ち、前年度と比べ187億2,200万円増加し、過去2番目の予算規模となっています。

◎初の市版として制作発表時から話題を呼んだ『地球の歩き方 北九州市』が2月1日に発売されました。世界160の国と地域のガイドブックを発行する「地球の歩き方」が、全国初の市版として選ばれたのが我が街・北九州市です。本市は、世界でも類を見ない五市対等合併により誕生した政令市です。誌面には、市内7区の独自の歴史や文化、発祥グルメからエンタメまで、様々な市内の特徴が400ページにまとめられ紹介されています。2月3日には、JR小倉駅JAM広場で、『地球の歩き方 北九州市』の出版を記念して、7区の多彩なグルメメニューを販売するマルシェのほか、トークステージ、音楽ステージなども開催され大いに盛り上がりしました。この出版をきっかけに、国内のみならず北九州市の魅力が伝えられればと願っています。引き続き、地域の課題の一つずつ丁寧に市民の声に耳を傾けながら邁進していきます。

いずみひでお



北九州市
MIRAIのカタチ①
老朽空き家の
対策について

令和 6 年 2 月 定 例 会 代 表 質 疑 に て

実効性のある空き家対策で 安心安全に暮らせる街に!



◎今、全国的に空き家が増加しており、特に管理できなくなった老朽空き家は防災、防犯、衛生、景観、鳥獣の住処など、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼしています。人口の多い団塊の世代では、持ち家率が86%以上と言われ、核家族化が進んだ現在、後期高齢者になっても、子どもと同居していないために、亡くなった後は空き家となるケースが増えています。国では、空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が昨年6月公布され、12月に正式に施行となりました。この改正により、特定空き家に加えて管理不全空き家も市区町村からの指導を受け、それに従わず勧告を受けると固定資産税の軽減措置が受けられなくなります。

そこで、今回の法改正を

本市としてどのように受けとめ、
改正により本市の特定空き家等の数がどのように
推移していくと想定しているのか質問しました。

[答弁] この法改正では、空き家管理の啓発や相談に応じる「空家等管理活用支援法人」制度の創設、倒壊のおそれ等、周囲に著しい悪影響を及ぼす空き家である特定空き家となることを未然に防止する対応、相続放棄された空き家への対応など、特定空き家となる前の段階から、空き家の有効活用や適切な管理につなげる対策等が可能となりました。これを受けまして、北九州市としましては、これまでの空き家対策に加え、「空家等管理活用支援法人」制度の運用、特定空家になるおそれのある管理不全空き家への指導・勧告など、実効性のある取組を行うことにより、特定空き家等の削減につなげてまいりたいと考えています。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎今回の空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部法改正より、老朽空き家の対策が進展することを期待します。周辺に危険をおよぼす特定空き家や、管理不十分で特定空き家となり得る管理不全空き家の把握の徹底に努めていただき安心して暮らせる地域をつくってほしい。

北九州市
MIRAIのカタチ②
建設業の人手不足
問題について

令和 6 年 2 月 定 例 会 代 表 質 疑 に て

若者も注目する魅力ある 建設事業者が多い街に!



◎建設業では、慢性的な人手不足が深刻な問題となっています。国土交通省が昨年4月にまとめた「最近の建設業を巡る状況について【報告】」によりますと、2022年(令和4年)における建設業の就業者数は479万人で、ピーク時の1997年(平成9年)の685万人と比べて約30%減少しており、高齢化の進行による技術継承などが懸念され問題となっています。建設業は他の業界と比較して給与水準が低いことや、日給制を採用している企業では悪天候による作業停止や欠勤などにより、その月の給与が変動するため、給与額が安定しないという特徴があります。このような点も、新規雇用が拡大しない原因だと言われています。

そこで、本市の地場建設業で

日給制を採用している企業に対し、
若者の新規雇用につながる月給制への転換を
どのように支援していくのか質問しました。

[答弁] 月給制への転換を進めていくためには、企業が安定的な経営を行い、適正な利潤の確保ができるなど、環境整備を進めることが必要であると考えています。そこで、北九州市では、地元建設業が安定的に経営できるよう、年間を通じて工事量を安定させる「施工時期の平準化」を進めています。また、受注者が、担い手の育成・確保に必要である適正な利潤を確保できるよう、労務や資材などの最新の実勢単価を適切に予定価格へ反映しています。加えて、週休2日を導入する際、労働者が適正な給与を確保できるように、労務費などを割増した経費を計上しているところです。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎建設業の労働人口が減少している背景には、建設業に対する悪いイメージがあると言われ、「屋外や高所で作業することが危険」、「体育会系の雰囲気強い」、「長時間労働でしんどい」といった印象が、若者に敬遠されている一因と考えられます。若者の新規雇用を促進するために市として建設業のイメージアップを支援してほしい。

北九州市
MIRAIのカタチ③
電動車の普及啓発と
活用について

令和 6 年 2 月 定 例 会 代 表 質 疑 に て

環境先進都市・北九州にふさわしい 環境にやさしい街に!



◎本市では、「2050年のゼロカーボンシティ」の表明を踏まえ、2050年の目指すべき姿(ゴール)を定め、具体的な削減対策と効果を積み上げ、2030年度の削減目標を設定しています。次世代自動車の中でもEV(Electrified Vehicle=電動車)やFCV(Fuel Cell Vehicle=燃料電池自動車)など電動車の普及促進を図り、自動車から排出される温室効果ガスを削減していくため、公用車への電動車の率先導入、EV・FCVの情報発信の強化や充電施設等インフラ整備の促進などに取り組んでいます。

そこで、本市において

電動車の普及がどれだけ進んでいるのか、
併せて、公用車の導入は
どのようになっているか質問しました。

[答弁] 2021年度末における北九州市内の普通自動車の保有台数約36万台のうち、約9万台が電動車です。全体に占める割合は約26%で、全国平均の約24%を上回っています。このうち、電気自動車は約1,300台に留まっており、全体に占める割合は約0.3%で、割合としては全国平均並です。北九州市でも、市内中小企業などを対象に、国の制度と併用できる、車両や充電器の補助事業を実施しています。次に、公用車について、北九州市では、消防車や救急車などの特殊車両を除く全ての公用車について、2030年度までに全車両を電動車とする方針を定め、全庁的に取り組んでいます。現在、公用車816台のうち、電動車を110台導入しています。今後も、計画的に電動化を進めていく考えであり、こうした取り組みを通じ、運輸部門の脱炭素化に取り組んでいきたいと考えています。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎電動車の普及においては、充電器設備の充実が不可欠です。充電器設備の導入支援で電動車を市内で安心して利用できる環境を整備していただきたい。また、公用車の2030年までの100%導入についても先延ばしすることなく、ガソリン車から環境にやさしい電動車の導入を促進してほしい。